

製品名: カゼインキナーゼ I γ 2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07945**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	47kDa

抗原情報

遺伝子名	CSNK1G2
別名	CSNK1G2; CK1G2; Casein kinase I isoform gamma-2; CKI-gamma 2
遺伝子 ID	1455.0
SwissProt ID	P78368
免疫原	抗血清はヒト CKI- γ 2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

背景

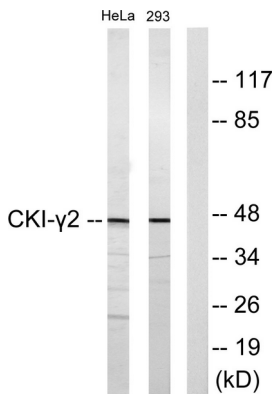
触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能: カゼインキナーゼは、カゼインなどの酸性タンパク質を基質として優先的に利用することで操作的に定義されます。多数のタンパク質をリン酸化できます。Wnt シグナル伝達に関与します。PTM:

自己リン酸化されます。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CK1 Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。カゼインキナーゼIサブファミリー。、類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。、サブユニット: モノマー。、組織特異性: 精巢。、触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。、機能: カゼインキナーゼは、カゼインなどの酸性タンパク質を基質として優先的に利用することで操作的に定義されます。多数のタンパク質をリン酸化できます。Wnt シグナル伝達に関与する。、PTM: 自己リン酸化される。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。CK1 Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。カゼインキナーゼIサブファミリー。、類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。、サブユニット: モノマー。、組織特異性: 精巢。、

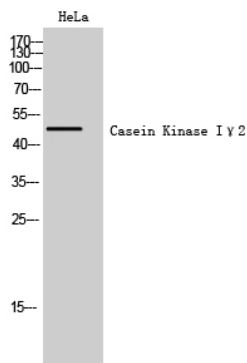
研究分野

ハリネズミ;

画像データ



CKI-gamma2 抗体を用いた HeLa 細胞および 293 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



カゼインキナーゼ Iγ2 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析